宇治市政だより

発行所　宇治市役所
京都府宇治市宇治妙楽160の1
印刷所　有限会社新進堂

住民登録人口
37年8月31日現在）

世帯数	13.491世帯
人口	57.797人
男	31 919人
女	25.878人

8月市人口の動き
出生53人　死亡18人
結婚27組　離婚5組

市域の面積
67.29平方キロメートル

宇治市長の任期満了に伴いよいよ市長選挙を行なうことになり同時に市会議員の補欠選挙も行なうことになりました。

従って十月二十日告示と同時に活発な選挙運動が開始されることと存じますが本選挙は宇治市民の最も身近な選挙であり、日々に市民生活に影響をもたらす重要な意義をもつものであります。

選挙人各位は、このことに深く思いをいたされ、候補者の人物識見を充分に見きわめられ、確信のある投票をなされるよう切に望いたします。

また、候補者及び選挙運動員各位は、法律の定めるところに従い常々と正しい明るい選挙運動をなされ、公正な選挙で楽しい明るい自治政治を打ちたて、もって選挙人の信頼と期待に応えられることを希望いたしてやみません。選挙は国民全体のものであり、候補者のものではないことを充分認識されまして選挙ことに理想選挙の彼岸に到達するような熱意あるご協力を切に念願いたすものであります。

大切な一票

宇治市選挙管理委員長　稲房康応

10月30日は市長選挙 市会議員補欠選挙の投票日

十月三十日に市長並びに市会議員補欠選挙が行なわれます。選挙人名簿に登録されていない方は投票することができません。

そこで、次に該当する人は、今回調製する補充選挙人名簿に登録されるよう申請して下さい。

▼今までの選挙人名簿に登録されておられない人のうちで、

① 新規年令者と住所移転者
昭和十七年十月二十一日までに生まれた人で、昭和三十七年七月二十日以前から引続き宇治市内に住んでいる人

② 名簿脱漏者
昨年九月十五日現在で調製した基本選挙人名簿、または知事選挙および参議院議員選挙のための補充選挙人名簿に登録されるはずの人で洩れていた人

申請は十月二十一日から十月二十三日まで
毎日午前八時三十分から午後五時まで（休日も受付）

名簿縦覧は十月二十五日から十月二十六日まで

近く入場券をお届けしますが、届かない方は、選管事務局へ至急お問い合わせ下さい。

下宿人、同居人のかたにもお伝え下さい。

▼ことしの九月十五日現在で調査した名簿は、ことしの選挙には使いませんから十分注意して下さい

宇治市選挙管理委員会

補充選挙人名簿の受付

10月21日から10月23日まで

天ヶ瀬上水道 いよいよ着工

39年夏には給水始める

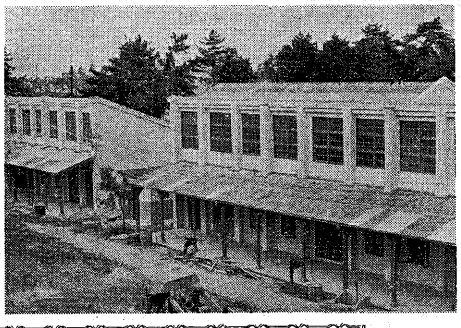
市民が待望する府営天ケ瀬上水道の起工式が秋晴れの九月十一日市内宇治下居の浄水場建設予定地で行なわれ、蟻川知事がくわ入れ、いよいよ実現へ第一歩をふみ出した。

この上水道は、南山城総合開発事業の一つで、天ケ瀬ダム上流から毎秒0・三トンの水を取り入れ、この浄水場に導き宇治市、城陽、久御山、八幡の各町に配水するもので、一万六千平方メートルの敷地に沈でん池二コ、ろ過池六コを備え、貯水量二、四三〇トンの近代式上水道施設で十万人に給水することができる。三十九年八月に給水が始められる予定。

これで宇治市の水不足は完全に解消し、各家庭に豊富できれいな水が存分に供給されることになる。（写真）左はくわ入れする蟻川知事、右は建設予定地から市の中心部を望む。

中宇治 立派な改造校舎

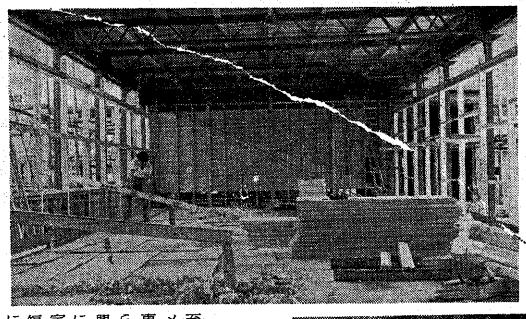
東宇治中学校全校移転新改築事業は、さきに新校舎（鉄筋3階建9教室）の完成をみたが、ひきつづいて、このほど、改造校舎7棟も出来上った。この校舎は、元軍の工場であったものを改造したもので　改造校舎とはいえ、鉄筋づくりの立派なもの普通教室12、音楽室・理科室・工業実習室など特別教室7、校長室・職員室など管理室7で、工事費は1992万円。



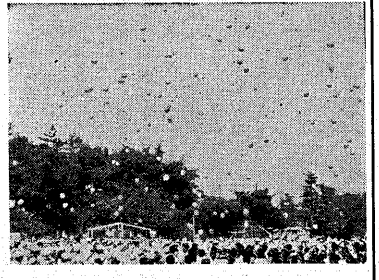
新装改造なった東宇治中学校校舎

＝完成近い菟道幼稚園＝

菟道幼稚園新園舎がまもなく完成する。これは現園舎が老朽したのと運動場がないため宇治県通り西側に移転新築するもの。敷地は1452㎡、建物は鉄筋1階（一部2階）建792㎡、保育室7、遊戯室1、職員室1、保健室などを備えたスマートな明るいつくり。工事費は1382万円で、完成は10月末の予定。



←ひろびろとした保育室の内部工事



新庁舎屋上に「平和の鐘」

建設資金は自発的な募金で

「戦争はもういや」という心が集まって、世界の平和を願う運動が進められています。宇治市でも二十九年から毎年市内で平和祭が行なわれ、三十五年には市会で「世界連邦平和都市」宣言が決議され、いまでは全市民の運動となりました。そうして、ことしこの宇治市平和都市推進協議会がつくられ、市民の自発的な募金によって来春完成予定の市庁舎屋上にチャイムベル「平和と愛の鐘」（仮称）を建設することになりました。

一人でも多くの人が、この鐘の建設にご協力下さいますようお願いいたします。

建設経費　五〇万円
募金運動期間　三七年九月一五日～三十八年一月二六日

宇治市平和都市推進協議会

帯しんに入れてよせられた「平和の鐘」の募金

谷山線林道 一期工事おわる

市内炭山を起点に西笠取下庄に至る全長四千五百メートル、巾三メートルの谷山線林道の第一期工事が完成、近く第二期工事が始められる。この林道は、市の山村振興事業として三十六年度から事業にかかり、三十八年度に完成の予定で、市の中心部と笠取を結ぶ最短コースとなり、奥地の経済開発に大きな役割りを果たすもの。

祈りをこめて学童がパレード

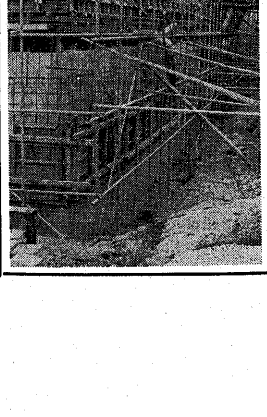
毎月10日は交通安全日

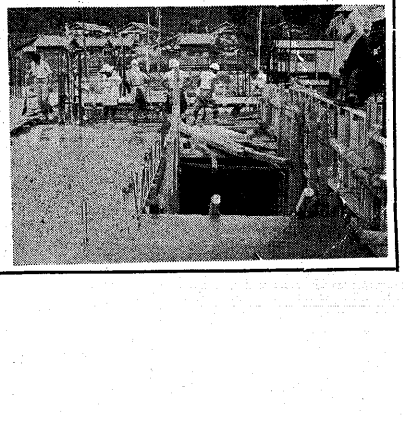
九月十日（宇治市から交通事故をなくしましょう」と、菟道・菟道第一・槇島小学校、宇治中学校の生徒約二千百人が菟道第二小学校を出発、手に手に風船や小旗を持って市内目抜通りを行進、菟道小学校まではなやかにパレードをくりひろげた。第一会場では消防音楽隊の交通安全パレード、第二会場では小中学生が交通安全の祈りをこめて一せいに風船を空に放ち、この日を飾った。宇治市交通安全対策協議会では、毎月十日を交通安全日ときめ、まちぐるみで交通事故をなくする運動に力を入れてゆくことになった。

新庁舎建築工事地階から一階へ

新庁舎の建築工事は、基礎部分が完全にかたまり、いま地階と一階フロアーのコンクリート工事が進められている。ヘルメット姿で立ち働く人々の影も秋の日にいそがしく、鉄筋のふれ合う音、つち音が秋空に高く響く。

地階は半地下式で彩光のきくドライエリアがあり、面積は1289㎡正面玄関下方の職員専用の出入口を入ると中央部はホールで階段が屋上まで通じる。この地階には、書庫、図書室、印刷室、暗室、医務室、薬品室、職員更衣室、宿直室、小使室、食堂、浴場、便所、物品倉庫など、機械関係では機械室、電気室、ボイラー室、電話電池室、運転手控室のある車庫が設けられるほか、新たに理髪室、売店がつくられるのも珍しく、来庁者の便利も考えられている。一階フロアーは地上より約3.5m高くなり、正門玄関までゆるい傾斜の通路ができることになる。　写真〔右〕は一階フロアーのコンクリート作業、中央が階段部分　〔左〕は地階の仮枠工事





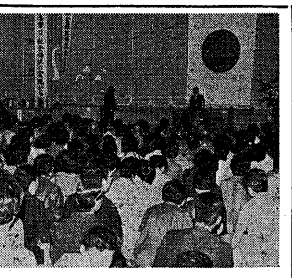
◈長寿をたたえ各地で敬老会◈

ことしも「としよりの日」を祝い、伊勢田地区を皮切りに、市内各地で敬老会が行なわれた。

ことし招待されたおとしよりは 1,350人で、最高令者は広野町北ノ山7の北村トミさんと木幡正中26の木藤マスさん（いずれも満95才）のお2人、米寿を祝して長寿座ぶとんを贈られた方は、宇治一番 127の辻村イトさん（88才）ほか13人となっている。

敬老会は、婦人会や町内役員の方々のきも入りで、お弁当をおくり、余興をそえて、おとしよりの慰安がくりひろげられたが、出席されたおとしよりは、「まだまだわたしらでできる仕事に余生を打ちこみたい」、と元気なところをみせておられた。

（写真は、市長から長寿座ぶとんを贈られたおばあさん）



◈子供会の野外訓練◈

宇治市少年補導研究協議会、宇治市教育委員会が主催で去る9月16日、三室戸寺キャンプ場に子供会の野外訓練大会がくりひろげられた。

これは、子供会の実際面を刺戟してその健全な育成をはかろうとするもので、この日は、飯ごう炊事、交通訓練、野外ゲームなどの指導講習が実地に行なわれた。

市内32の子供会の会員や補導者ら 356人が参加し、府教育委員会の中本先生、YMCAの高屋先生らの指導で、午前8時宇治橋西詰を出発、追跡ハイキングに始まり、楽しい飯ごう炊事、集会などで利用できるゲームがつぎつぎと行なわれ、秋日和の山中に子供たちの歓声がこだましていた。（写真は、楽しいゲームに興ずる子どもたち）

◈市民が集まり福祉大会◈

社会福祉事業法10周年を記念して、生長の家大拝殿で、宇治市社会福祉大会が 開かれ、宇治市社会福祉協議会の各会員約 900人がひろい会場を埋めた。新庄名誉会長、入江大会長のあいさつ、蜷川知事らの祝辞につづいて、市の民生福祉事業に功労のあった 森本茂さんら15人に感謝状が贈られ、、山崎政栄さんら 39人の表彰式があり、板倉照子さんらの意見発表の後、「豊かな明るい 平和な社会の実現にまい進する」ことを宣言した。午後は、NJP音楽隊の演奏、吉和会社中の日本舞踊で 興趣を盛り上げ、城南高校混成合唱団のコーラスがあって閉幕した。（写真は、つめかけた市民で一ぱいの大会会場）

愛の寄金

八月二十一日から九月二十日までに当協議会へ寄せられた寄附金は、次のとおりです。

▽八月二十一日　匿名で五百円（宇治警察署経由）
▽八月三十日　匿名で百円（宇治警察署経由）
▽九月四日　市内伊勢田町毛語九二工田喜造さんから四百二十二円（洛南タイムス社経由）
▽九月十九日　匿名で二百円（宇治警察署経由）
▽九月二十日　市内広野町西裏小山容弘さん、城陽町富ノ荘南村宏夫さんのお二人から五百円、城陽町平川北尾邑三さんから七百二十五円（いずれも宇治警察署経由）

これらの寄附金は、福祉金庫に入金し、市内の恵まれない方々のために役立たせていただきます。どうもありがとうございました。

（宇治市社会福祉協議会）

旧軍人 普通恩給 普通扶助料 の請求を

旧軍人の恩給は昭和二十八年廃止されたが、同二十八年恩給法の一部改正によって、昭和二十一年の廃止前に恩給の裁定を受けている者には、在職年について地域の加算が認められ、普通恩給、普通扶助料が給与されています。一方終戦により復員したものは、加算が認められず、実際勤務した年月数は前者と同様またはそれ以上であるにもかかわらず普通恩給所要最短年限未満であるという理由で普通恩給、普通扶助料が給与されていないので、恩給法上その処遇に開きができています。こうした不均衡を是正するため、昨年第三十八回国会で恩給の一部が改正され、地域加算が算入されることになりました。

この結果、現在恩給を受けることができる者は、地域加算を加えて受校、准士官は十三年以上、下士官は十二年以上の者となっています。また給付の始期は、普通恩給は三十六年月、普通扶助料は三十六年十月、普通恩給は三十七年十月です。

該当者の方でまだ手続のしていない方は、至急に請求書を提出して下さい。

（福祉事務所）

見つめよう女性の力を
―婦人問題研究大会から―

秋色ようやく動き初める八月二十九、三十の両日、京都府連合婦人会主催による第九回婦人問題研究大会が、宇治市内の生長の家会場にして開かれました。

この日、京都府の南から北からはるばる参加した各婦人会の会長約三百名、地元会員約二百名が集まり、さしもの大会場も立錐（すい）の余地もないほど埋めつくした同志の友情もかたく午後〇時三十分大会の幕が切られました。

会場には、「婦人会と政治学習及びその活動」「新しい家庭教育の在り方について」と書かれた幕が高く掲げられ、主催者、来賓のあいさつに引きつづいて、選挙制度審議員、日本ユネスコ協会長であり、また、源氏物語については独自の研究史実家として今をときめく評論家、村山りう氏の講演「女性に期待するもの」が行なわれ、約一時間にわたる大熱弁で大会の序幕をかざったのでした。

友情かたく開幕

村山氏は、「人間のしあわせを作り出すための条件作りが政治である。現代社会は、生産活動をはじめ、すべて条件がきびしく義務づけられたため、日本国中がサラリーマン化し、実力以外には、背負（かつぎ）のない評価を受けなければならない人間の組織関係の中にあって、特に研究、創意、工夫を科学的に開発しなければならない男性が、家庭の計画にたずさわる心身の余裕がないという現状である。

私の科学的調査によると、父と子が相対して話のできるのは一日平均約十五分で、このすれ違いの人生をおっている父子の間で母親に課せられた責任は重大である。」と力説され、「今ほど女がその頭脳をつかい、思いをめぐらして身近には子供の教育を、遠くは国の政治をしっかり見つめ、互いに力と心を合わせて前進しなければならない。」と話されました。さらに「女は自信をもって物を語るための意識が低く、他人の美辞によにねらわれる集団である。」と鋭く指摘され、また「サラリーマン化された現代社会になみみを持つ子供たちに唯一のよりどころとなるために、母親・知性を深め、子供たちに高い頭脳・実力を遺産として残すために絶え間なく探求し科学して自己を高めて行きましょう。」と力強く結ばれました。

たった十五分の父と子の話合い

万雷の拍手も鳴りやまぬうちに一同は、六つの分散会に分かれて討論し、たぎり近く、宿に入りました。やがて、宇治川の清流にかがり火もなまめかしく、やかた船を浮かべて、鵜飼（うかい）を楽しみ、河畔の宿に第一夜の夢を結んだのは十時近くでした。

しかり方が大切

習三千日は、早朝から六分散会で、政治を論じ、家庭教育を語り午後には全体会をもって、「政治活動に前向きの姿勢で、婦人会の本質を堅持しながら、大いに前進しましょう。」「個顧員の進出に努力しましょう。」「自分たちの選んだ議員の行動を監視しましょう。」「人間形式の大半をなす幼児教育に力を入れ、成長とともに親子友人関係に入りましょう。」「しかり方は、個人差を考え、原因をたしかめつつ愛情をもってしかりましょう。」

「非行少年、浪人対策、高校増設などに、正しい世論を、婦人会の名において盛り上げましょう。」など活発な意見が結ばれ、午後三時、会場もゆるげばかり敢った「ほたるの光」を最後に、二日にわたった大会をつづけなく終わり一同は研究会の収穫を胸に秋の宇治をあとになつかしい家路についたのでした。

（板倉照子）

社教直言

▼宇治橋西詰で信号灯を無視するのは、歩行者と自転車にきまっている。そして交通事故が起こると、その罪を自動車やダンプにかぶせるのは、チト酷すぎはせぬか。一般も道路交通法を勉強する必要大いにあり。

▼道路の片側を行儀よく歩くのは幼稚園児、それが小学生、中学生となるにつれて横着になる。高校生にもなると道路を占領して、自転車くらいだと、簡単にはよけようとしない。男に一般人の中には自ら自動車に衝突するいわゆる「あたり屋族」がある。こうした大きいものから社会道義を乱すのだからたまったものでない。

▼電車に乗っている学生の二人が老人のために席を譲ると、他の学生が「ええかっこをするな」とひやかしていた。価値ある行為を素直に受け取らぬのとの頃の若者の気質か。

▼「紙屑や煙草の吸いがらを捨てないでください」こうしたはり紙が便所によくしてある。だが一向に守られていない。こんなはり紙がなくても大衆が実行するようになるまでは、文化国家日本などと言にせぬがよい。

いまにし生

保育料がかわります

市内保育所の入所児童に対する保護者負担金（保育料）が、去る七月一日から次のように改訂されました。

市立小倉双葉園保育所　月額　一、五一〇円
市立宇治保育所　月額　一、五七〇円
（ただし、乳児を除く）

私立広野幼児園については、十月一日から月額、五七〇円に改訂になります。

（福祉事務所）

勤労奉仕で実る学習
笠取小育友会の努力

「今年の高槻水学習の費用は我々会員の手で、なんとかしようじゃないか」、と発言したのがきっかけに、相談がまとまり、育友会員が奉仕作業を計画、その作業労賃をこの種の事業に充当することになった。

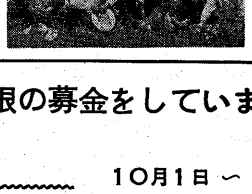
勤労作業は、育友会員総戸数三十一軒から各戸二人ずつ、延九十三人が出る計画で進められ、第一回目は四月二十五日地元区有林営ノ谷の山で枝打作業、第二回目は七月十五日官林の下草刈と枝打作業、第三回目は八月二十三日通称石川山と呼ばれる山で下草刈作業、第四回目は九月九日滝ケ谷区有林で作業、第五回目は十月十五日官林の下草刈と枝打作業、第六回目は十月二十日通称「ハンゴ」と呼ばれる山で下草刈作業をする。

この地域は、本来多くが家業として農林業を経営しているが、有林の下草刈作業を行なった。

やけつくような真夏、ねっとりと汗にむむ残暑にも耐えて、ことしの発展を願い幸福を念ずる尊い人間像であると信ずる。

この地域は、本来多くが家業として農林業を経営しているが、最近は若い人は勤めに出て老人と婦人だけが家の生産源となり、農業経営もさがり角といわれる。そこで、適適産性を研究し、郷土産業である家業、しいたけ栽培を通じて新しい村造りの気運が充満している。しかし、いつどんな場合でも、教育のことは忘れられない、ほおっておけないというのが村の人たちの一致した気持である。

こうして延十人の会員が作業に出て、報酬四万五千円を得られた。これは勉強一に高槻水学習に使われ、次いで、講師を迎えて「子供の生活指導と校外補導」の講習をうけることなどが計画されている。



市民文化祭作品を募集

・市民文化祭　11月3・4日黄檗山万福寺で

・みなさんから作品を募集します。
①絵画50号以下　②写真四ツ切以上
③書道半折もの、仮軸または表装すること　④生花普通作　⑤美術工芸手芸服飾、染色、陶芸、彫塑など　⑥菊花切花、長さ1尺8寸

・作品は11月1日に市教育委員会または万福寺西方丈へ持参して下さい。

・謡曲、俳句短歌会、茶道の発表会も行ないます。奮つてご参加下さい。

赤い羽根の募金をしています

10月1日 ～ 10月20日
みなさんのご協力をお願いします

配給米を受けましょう

◉お米屋さんの登録者は

11月10・11日に

お米屋さんの登録を委ようとされる方は、この二日間にお米の通帳とハンコを持って、市民課へおこし下さい。

（市民課）

全国児童生徒作文コンクール

主催　郵政省
期間　三七・一〇・一～三八・一・三一
趣旨　全国の児童生徒から作文を募集して、優秀作品に賞をおくり、簡易保険への理解を求め、学校教育振興の一助にする
応募資格
小学校　五、六年生
中学校　一、二年生
題材・長さ
自由題とし、四百字詰原稿用紙五枚以内、作品には、文題、学年、氏名、住所、学校名と所在地を明記
あて先　もよりの郵便局へ
入選発表　来年三月の予定
賞　郵政大臣賞、文部大臣賞

◆簡保年金積立金運用再開十周年記念◆

筆者笠取小学校
教頭　谷口勘次

宇治市の一環にとうとう尊い奉仕作業が展開され、根強く、ちりとして努力されている姿を紹介したい。

子供は日日に成長し、この暖い愛情のもとに、何の偏見もなく、まっすぐに育って行く。まさに、区民の和衷協力は、宇治市民に大の灯火をそえるものと確信する。